

新庄南高金山校生徒会が『愛の鳩賞』

金山町にとっても初受賞

右：元生徒会の3年生。
(右から) 柴田菜々子さん、
堀実玖さん、福田奈央さん、
後藤美優さんの4名が贈呈
式に出席しました。

下(3枚)：ボランティアの
様子。多方面にわたる活動
を行っています。



生徒一人一人が活躍できる生徒会活動を

新庄南高金山校生徒会が、平成28年度の『愛の鳩賞』を受賞し、贈呈式に元生徒会役員の3年生が出席しました。

『愛の鳩賞』は、(公財)山形放送愛の事業団と山形新聞・山形放送が主催し、地域福祉に尽くす個人や団体を表彰するものです。37年の歴史がある本賞ですが、金山町にとっては、今回が初めての受賞。

生徒会の皆さんの多方面にわたる地域貢献活動が大きく評価された結果となりました。

生徒会の皆さんが広く知られるきっかけとなった一つが、通称『たこムス』の活動です。

たこ焼き作りが趣味という先生がたまたま金山校に勤務していたため、数年前から自然と始まった、たこ焼きのふるまい。かねやま青空市でのボランティアとあわせて、いまや彼女たちの代名詞となっています。

また、生徒全員が活躍できる学校を目指し、行動しているのが金山校の強み。月1回

の生徒会集会ではより多くの生徒が発言できるよう機会を設けています。全校を挙げた町内ごみ拾いや高齢者世帯の除雪作業も恒例行事となりました。

現在は生徒会役員が代替わりし、2年生を中心に運営中。金山校生徒会活動に大きな足跡を残した3年生もこの春、卒業を迎えます。「先輩方の努力の積み重ねがあつてこそ受賞できた。タイミングがたまたま私たちの代だったというだけ。多くの活動を通して、後輩たちに気持ちは伝わっていると」と前生徒会長長の堀実玖さんは話します。

「生徒たちが町民の皆さんに愛される存在となり誇らしい」と話すのは金山校の黒坂先生。生徒会だけでなく、生徒一人一人が旧金山高校時代から続く『金山校プライド』を持ち、今後さらなる飛躍とともに、歴史を紡いでいって

くれることを願います。若い力は町の宝です。